

令和5年度基本方針・目標・具体的方策

| | | | |
|----------|--|---|---------------------------------|
| ① 教務部 | 基本方針 | | ・授業と研修の充実を図る。 |
| | | | ・学習指導要領の円滑な実施と望ましい教育課程について検討する。 |
| | | | ・各分掌・学年・委員会との連絡調整に努める。 |
| | 番号 | 目 標 | 具 体 的 方 策 |
| 1 | 学力向上のための授業と研修の充実を図る。 | ① 授業交換あるいは代替授業により授業時数を確保するとともに、状況に応じて学力向上につながる自習を行うようにする。 ② 研修週間の充実を図り、研究授業を計画的に実施し、「教科指導力」向上の方策について考えるきっかけを作る。 ③ 授業アンケートを実施し、授業改善に役立てる。 ④ ICT環境の整備をし、情報メディア委員会と連携しICTを活用した授業の推進を図る。 | |
| 2 | 学習指導要領の円滑な実施と本校の教育目標達成のため教育課程について検討する。 | ① 新学習指導要領を踏まえた観点別評価の整備を行う。 ② 大学入学共通テストに対応する教育課程について検討する。 | |
| 3 | 各分掌・学年・委員会との連絡調整に努める。 | ① 行事や日常業務が円滑に進むよう、各分掌・学年との連絡調整を綿密に行う。 ② 学校評価委員会と連携を図り、学校評価の分析・検討を行い、学校活動に生かす方策を考える。 | |

| | | | |
|------------|---------------|--|--------------------------------------|
| ② 生徒指導部 | 基本方針 | | ・品性の向上」を目指し、「基本の心得」を実践させるよう指導する。 |
| | | | ・安心安全な学校を目指し、安全指導とトラブルへの組織的対応を推進する。 |
| | | | ・生徒一人一人が主体的に充実した学校生活を送ることができるよう支援する。 |
| | 番号 | 目 標 | 具 体 的 方 策 |
| 1 | 基本的な生活習慣の確立 | ① 登校指導や集会、授業等において挨拶の励行、時間厳守について指導する。 ② スマートフォンの適切な使い方を指導する。 ③ 衣替えや長期休業明けなどを中心に服装容儀を指導する。 | |
| 2 | 安全指導の徹底 | ① 登校・下校時の歩行指導、自転車通学指導を徹底する。 ② 不審者対応を迅速に行い、クラス担任・学年との連絡を密にする。 ③ 避難訓練計画や防災計画の見直しを継続する。 | |
| 3 | いじめ防止と早期解消 | ① 生徒の主体的な取組によるいじめ防止活動を促す。 ② いじめや学校生活の不安を相談しやすい環境作りに努め、情報収集と外部機関との連携を進める。 ③ 事案対処マニュアルをもとに組織的対応を進め、いじめが早期解消するよう尽力する。 | |
| 4 | 生徒会活動と部活動の活性化 | ① HR活動との連携を図りながら、生徒会活動が自主的に実践できるよう支援する。 ② 各部で年間・月間計画を作成し、適切な休養日を確保するとともに、計画的な活動の実践を指導する。 | |

| | | | |
|---------------------|----------------|---|---|
| ② 生徒指導部（保健・相談関係） | 基本方針 | | ・生徒が心身ともに健康な学校生活を送ることができるよう、自律的健康管理能力を育てる。 |
| | | | ・環境衛生・整備に関する安全活動を促進し、学校環境美化に意欲的に取り組む態度を育てる。 |
| | | | ・校内研修を通じて、健康保持・増進に努め、社会貢献を果たす。 |
| | 番号 | 目 標 | 具 体 的 方 策 |
| 1 | 生徒の健康の実態把握に努める | ① 身体測定・健康診断を実施し、疾病等を早期に発見する。 ② 保健室来室および欠席状況等から生徒の日々の健康観察を行い、感染症の予防徹底に努める。健康観察の入力の徹底。 ③ 保健室来室記録（内科系）を基に、心身の不調な生徒の実態を把握し、各学年・担任と連携を図りながら支援する。 | |
| 2 | 健康管理能力を高める | ① 薬物乱用防止教室、性教育講演会を実施し、自己の健康に関心を持たせる。 ② 心身の健康の保持増進のための相談活動を実施するとともに、各学年・担任と連携した支援を行う。 ③ 保健資料、保健だより等を活用し健康教育を行う。 | |
| 3 | 学校環境美化に努める | ① 清掃活動、ごみの減量・分別の徹底を図る。 ② 清掃用具の交換・点検を計画的に行う。 ③ 毎月、全校清掃・安全点検を実施する。 | |

| | | | |
|------------|---|---|-------------------------------|
| ③ 進路指導部 | 基本方針 | | ・キャリア教育の視点に立った進路指導体制づくりを目指す。 |
| | | | ・入試改革への対応を一層図り、校内外の教員研修を推進する。 |
| | | | ・進学力向上策の分析と改善を進める。 |
| | 番号 | 目 標 | 具 体 的 方 策 |
| 1 | 学校としての進路指導体制を構築する。 | ① 全教員で進路指導を行う体制を確立する。 ② 総合型選抜と学校推薦型選抜への対応を図る。 ③ 「進路の手引き」を作成し、キャリア教育の指針とする。 ④ 資料を充実させ、学習ルームとしての進路指導室の具体的活用法を提示する。 | |
| 2 | 高大接続改革・新課程入試等に対応した進路指導力向上のための教員研修を推進する。 | ① 全教員を対象に高大接続・新課程入試等に関する情報提供を行う。 ② 多様な校内外研修の機会を提供する。 | |
| 3 | 進学力向上策の現状分析を踏まえ、内容の改善と精選を図る。 | ① 検討会や情報交換会等を通じて情報の共有を図り、生徒一人一人の夢の実現を支援する。 ② 分析結果を蓄積することで次の指導に役立て、進学実績の向上を図る。 | |

| | | | |
|----------|---------------|--|--|
| ④ 図書部 | 基本方針 | | ・読書への興味関心を高め、心豊かな人間の育成を図る。 |
| | | | ・図書館資料を収集・整理・保存するとともに視聴覚設備を整備・運用することによって、教育課程の展開に寄与する。 |
| | 番号 | 目 標 | 具 体 的 方 策 |
| | 1 | 図書館利用の推進を目指す。 | ① 朝の読書のための本選びをサポートする。 ② 図書館便りと新着図書案内を発行する。 ③ 八東生のための推薦図書一覧を作成する。 ④ 特別展示を実施する。 |
| 2 | 図書館資料の整備を進める。 | ① 準備室・書庫の書籍の整理に着手する。 ② 図書資料の検索効率を高める。 ③ 古い資料の廃棄を進める。 ④ 蔵書点検を実施する。 | |
| 3 | 視聴覚設備の運用を進める。 | ① 視聴覚教室の整備を進める。 ② 視聴覚機材の保守と管理に努める。 ③ 動画撮影・編集・中継などの業務を補助する。 ④ リモートの研修会や授業の補助をする。 | |

| | | | |
|----------|-----------------|--|---|
| ⑤ 渉外部 | 基本方針 | | ・PTA・後援会・同窓会の活動の強化と運営・経理における透明性の確保に努める。 |
| | | | ・学校評議員会を適切に開催運営する。 |
| | | | ・PTA・後援会予算が、本校の教育向上のために適切に運用されるように努める。 |
| | 番号 | 目 標 | 具 体 的 方 策 |
| 1 | PTAの諸活動の充実 | ① 新型コロナウイルス感染症予防のために停滞していた4つの委員会の活動を流行以前のように共にすることによって活発化する。 ② 各種研修会の内容を工夫・充実させ、積極的な参加を促す。 ③ 学年PTAの推進・援助のため、学年との連絡をこまめに行い、連携を図る。 | |
| 2 | 後援会・同窓会の活動強化の助成 | ① 関係者との連絡・調整に努め、組織の強化と学校教育活動を助成する。 ② 「ゆりの木の花ホール」の運営を工夫し、円滑化を図る。 | |
| 3 | 学校評議員会の開催運営 | ① 学校評議員との連絡・調整に努め、学校評議員会の円滑な開催運営を図る。 | |
| 4 | 予算の効率的運用 | ① 予算執行に関しては、事務部担当者との連携を密にして公正な運営を図る。 | |

| | | | |
|-----------------|--|--|--|
| ⑥ 表現科 運営部 | 基本方針 | | ・学年及び教科と連携しながら、特色ある教育内容や多様な学習機会を提供し、豊かな創造力と優れたコミュニケーション能力を持つ生徒の育成をめざす。 |
| | | | ・普通教科の学力向上に努める意識づくりと、表現科の特色を活かした進学指導の充実を図る。 |
| | | | ・学習成果の発表の場である、表現科公演の充実を図る。 |
| | 番号 | 目 標 | 具 体 的 方 策 |
| 1 | 専門教育の充実と学年及び教科との連携 | ① 県の事業等を積極的に活用し、特色あるワークショップ・校外研修・体験学習を実施する。 ② 表現科会議を開催し、学年や教科との情報交換を密にする。 | |
| 2 | 普通教科の学力向上に努める意識づくりと、表現科の特色を活かした進学指導の充実 | ① 表現科の生徒集会を開催することで、目標意識を持たせ、科としての連帯感を高める。 ② 総合型選抜・学校推薦型選抜に対応できる能力を育成する。 ③ 表現科の特色を活かした進学情報を収集・提供し、大学進学率80%以上をめざす。 | |
| 3 | 表現科公演の充実 | ① 表現科公演を通して、学習成果を発表し、表現科について理解を深めてもらう。 ② 高校入試倍率の向上のために、地域の中学生に関心を高めてもらう方策をとる。 ③ メディアを活用して地域の方々への積極的な情報発信を行う。 | |

| | | | |
|------------------|-------------------------|---|-----------------------------------|
| ⑦ 一 学 年 | 基本方針 | | ・基本的な生活習慣を確立し、お互いを尊重する心を育成する。 |
| | | | ・主体的に学習に取り組む習慣を確立する。 |
| | | | ・生徒・保護者との連絡・連携を密にすることで、信頼関係を構築する。 |
| | 番号 | 目 標 | 具 体 的 方 策 |
| 1 | 基本的な生活習慣の確立と互いを尊重する心の育成 | ① ルールを守り、規則正しく生活する習慣を育成する。 ② 時間と期限を厳守させる。 ③ 学校行事や部活動等を通して人と関わり、協力してより良い学校生活を築こうとする態度を育成する。 ④ 挨拶や清掃を積極的に行う姿勢を身に付けさせる。 | |
| 2 | 主体的学習習慣の確立 | ① 授業を大切に、主体的に学習に取り組む態度を育成する。 ② ガイダンス等を実施し、高校での学びがどのように将来の「生き方」に繋がるかを考えさせる。 ③ 家庭学習の確立のため、課題提出の確認や学習時間調査を行う。 ④ 課題の質と量、教科間のバランスを調整する。 | |
| 3 | 信頼関係の構築 | ① 定期的に面談を行い、生徒一人一人の理解に努める。 ② 学年内で情報を共有し、他学年・分掌との連絡を密にし、一貫性を持って指導にあたる。 ③ 保護者と連絡・連携をし、信頼関係を構築する。 ④ 学年通信等を通して、生徒の様子を家庭に発信する。 | |

| | | | |
|------------------|-------------------------|---|---|
| ⑧ 二 学 年 | 基本方針 | | ・「学力と品性の向上」を合言葉に、基本的な生活習慣を確立し、お互いを尊重する心を育成する。 |
| | | | ・主体的に学習に取り組む習慣を確立する。 |
| | | | ・生徒・保護者との連絡・連携を密にすることで、信頼関係を構築する。 |
| | 番号 | 目 標 | 具 体 的 方 策 |
| 1 | 基本的な生活習慣の確立と互いを尊重する心の育成 | ① 自律の心をもって規則正しく生活する習慣を育成する。 ② 期限を守り、責任を果たす意識を持たせる。 ③ 学校行事や部活動等を通して多くの人と関わり、協働してより良い学校生活を築こうとする態度を育成する。 ④ 進んで挨拶や清掃等を行う姿勢を身に付けさせる。 | |
| 2 | 主体的学習習慣の確立 | ① 授業第一主義の徹底と、授業以外でも生徒一人一人に学習する雰囲気作りを意識させる。 ② 講演会や大学見学会等を実施して将来の「生き方」を考え、進路目標を具体化させる。 ③ 課題提出の確認や学習調査を通じて、家庭学習の充実を図る。 ④ あおもり創造学への取り組みを通して郷土理解を深め、解決のために調査・研究を行う姿勢を身に付ける。 | |
| 3 | 信頼関係の深化 | ① 定期的に面談を行い、生徒一人一人の理解に努める。 ② 学年内での情報共有と、他学年・分掌との緊密な連絡により、一貫性を持って指導にあたる。 ③ 保護者と連絡・連携を密にし、信頼関係を構築する。 ④ 学年通信等を通して、生徒の様子を家庭に発信する。 | |

| | | | |
|---|---------|--|--|
| ⑨ 三 学 年 | 基本方針 | | ・凡事徹底をスローガンに基本的な生活習慣を確立し、お互いを尊重する心を育成する。 |
| | | | ・主体的に学習に取り組む習慣を確立し、進路達成に繋げる。 |
| | | | ・生徒・保護者との連絡・連携を密にすることで、信頼関係を深める。 |
| | 番号 | 目 標 | 具 体 的 方 策 |
| | 1 | 基本的な生活習慣の確立と互いを尊重する心の育成 | ① 自らを律し規則正しく生活を送る習慣を育成する。 |
| | | | ② 時間と期限を厳守させる。 |
| | | | ③ 最上級生として学校行事や部活動等を通し人と関わり、協力してより良い学校生活を築こうとする態度を育成する。 |
| | | | ④ 「挨拶・清掃・5分前」を励行する。 |
| | 2 | 主体的学習習慣の確立と進路志望の達成 | ① 授業第一主義とするが、授業以外でも生徒一人一人に学習する雰囲気作りを意識させる。 |
| | | | ② ガイダンス等を実施し、高校での学びがどのように将来の「生き方」に繋がるかを考える場を与える。 |
| ③ 進路志望達成のため、生徒間でのチーム作りを行い、思考力・判断力を育成する。 | | | |
| ④ 生徒、保護者が納得できる進路達成を全力で支援する。 | | | |
| 3 | 信頼関係の深化 | ① 積極的に面談を行い、個々の生徒の実情に即した指導をする。 | |
| | | ② 学年内で情報を共有し、他学年・分掌との連絡を密にしながら一貫性を持って指導にあたる。 | |
| | | ③ 保護者との連絡・連携を密にし、信頼関係を深める。 | |
| | | ④ 三者面談や学年通信等を通して、生徒の様子を家庭に発信する。 | |

| | | | | |
|------------------|------|-------------------|--|--|
| ⑩ 事 務 部 | 基本方針 | | ・安全で快適な教育環境の整備 | |
| | | | ・適正な財務事務の執行 | |
| | | | ・適切な物品管理 | |
| | 番号 | 目 標 | 具 体 的 方 策 | |
| | 1 | 安全で快適な教育環境づくりに努める | ① 積極的に校舎内外を巡回し、施設設備の異常の早期発見・修繕に努める。安心 安全で快適な学習環境を提供できるよう維持管理を行う。 | |
| | | | ② 適正な財務事務の執行と効果的な予算執行を心がける | ① 物品購入希望、施設改修の要望等学習環境充実へつながる有効な予算執行を行う。相互牽制等チェック体制を強化し、検査・監査等において指摘事項が無いようにする。 |
| | | | | ② 私費会計処理について、外部への説明責任が十分果たせるよう内部統制・監査態勢を整え、適正な会計処理を行う。 |
| | 3 | 個人情報等の管理を徹底する | ① 特定個人情報の取扱いに関し、各自が知識の習得に努め、個人情報の保護、秘密漏洩防止を徹底する。 | |